神戸新聞 2016年01月23日 土曜日 面名 朝二社 １４ 26ページ

小学生の視力1.0未満3割

過去最悪、スマホ影響か

文科省調査

過去最悪となったことが22日、文部科学省の2015年度学校保健統計調査（速報値）で分かった。一方、「肥満傾向児」の割合は減少傾向。特に福島県は改善し、文科省は「おおむね東日本大震災前の数値に戻った」としている。

裸眼視力が1・0未満の子どもの割合は幼稚園26・82％、中学校54・05％、高校63・79％。父母世代に当たる30年前の85年度調査と比べ、約6～17ポイント増加した。

文科省は「スマートフォンやパソコンなど、近くを見る機会が増えたことが関係しているのではないか」とみている。

身長別標準体重から算出した肥満度が20％以上の「肥満傾向児」の出現率を学年別でみると、男子は小4と小5、女子は小3、中1、高2で微増した以外はいずれも微減だった。男子は高1の11・34％、女子は中1の8・36％が最高値だった。

福島県では震災以降、運動不足や生活環境の変化で肥満傾向の子どもが増え、都道府県別で出現率1位だった学年も多かったが、今回は1位がなくなった。県の担当者は「食育の指導や運動量を確保する工夫、外遊びを促すなどの取り組みを地道に継続した結果ではないか」としている。

幼稚園から高校まで裸眼視力が1・0未満の子どもは増加傾向で、特に小学生の割合は30・97％と1979年度の調査開始以来、

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 文部科学省の2015年度学校保健統計調査によると、裸眼視力が1．0未満の子どもの割合が、過去最悪となったのは、幼稚園児、小学生、中学生、高校生のどれですか？

（　　）

② 父母世代に当たる30年前の調査と比べて、視力1．0未満の子どもの割合は、どうなりましたか？

（　　）

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～高校／保健体育、総合、朝NIE